



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Theme of Rotary International 1994-5

BE A FRIEND

友達になろう

1994-5年度国際ロータリーのテーマ/ビル・ハントレーRI会長

●本日の例会

6月30日/第422回例会

■卓話 「退任のご挨拶」

会長 馬場 一廣 君

幹事 後藤 信夫 君

「退任のご挨拶」

94～95年度会長 馬場 一廣

今年度初めの「就任のご挨拶」で、私はボタンの掛け違いで会長になったけれども、精一杯頑張りますと申し上げましたので、私なりにやってきた積りです。

しかしながら、所詮は私にとっては任重く十分のことが成し得られなかったと率直に告白せざるを得ません。

私は「奉仕は私達一人一人の心の中のありようが問われるわけで、私は実際の奉仕活動はその心のありようの現われであり、結果であるのではないかと思うのです。私はロータリーライフを通じ一人一人の人生がより充実し、より生き甲斐のあるものになってほしいことを念じ、この一年を全うしたいと考えております」と申し上げました。そのような想いで、私としてはこの一年のクラブの運営をしてきた積りですが、このようなことが実現することは容易なことではないばかりか、会長の資質、能力、実行力、指導力あるいは人柄等に大きく依存するものだ

と思います。私がそのような重い任に耐えられないことは当初から判っていたことで、私はボタンの掛け違いだと申し上げていたわけです。

とはいえ、この一年多くの会員の方々的心からのご協力とご理解を頂いたことについて心から感謝申し上げます。また、幹事の後藤さんには色々の心くばりを頂き、心から御礼申し上げます。

ロータリーの奉仕の理想は人間が生存する限り、絶えることなく生き続けていくでしょうし、ロータリーの組織もまた継承されていくものと思います。今年度がよいこともあしきことを含めて当クラブの歴史のひとつとして残るならば望外の幸です。

そして会員の一人一人がロータリー活動を通じて豊かな人生を過ごされることを心から祈りあげます。

どうもこの一年間ありがとうございました。

94～95年度副会長 二宮 利泰

今年度副会長をつとめさせていたゞきましたが本日最終日となりました。馬場会長のご指導と後藤幹事のサポートで大過なく任期を終えることが出来ました。又クラブ奉仕委員長としては11の委員会の皆様をはじめ大方のご協力とご支援をいたゞきます成果を納めることが出来感謝しております。私にとりましてこの期間は任務を遂行する途上で新たに大勢の会員と更に深いお話しによって相互の理解が深められたと感じております。年度初めにあげた方針の中に奉仕活動や委員会活動に皆で

参加という項目がありましたが四大奉仕活動、諸会合や事前打合せなどを含めてそれぞれ多忙の中を各会員が積極的に参加されて討論と理解を通じて更なる親睦を深められたことは特記に値すると思います。この他数々の思いもありますが私として今迄に得られなかった有意義な勉強をさせていたゞきました。終りに次年度も益々楽しめるロータリークラブでありますように願っております。有難うございました。

94～95年度幹事 後藤 信夫

昨年7月1日より幹事として任にあたって以来、どうか今日をむかえる事ができました。「何事も経験だよ」という馬場会長の一言で適任、適役という事は全く考えず、臆面もなく引き受けさせていただきました。元来、アバウトでルーズなものですから皆様には色々と御迷惑をおかけし、御不快に思われた事も多々あったかと思ひます。今期がスタートして早々にギックリ腰で例会を欠席してしまいました。又その時はクラブ協議会の日でもありました。しかし吉田、関岡副幹事のおかげで事なきをえました。クラブにとっての一大行事はガバナーの公式訪問ですが、これが当初の9月から2月になってしまいました。先に延びてホッとしたのですが、いざ延びてみると早く終ってホッとしたかったのも正直な気持ちでした。

この一年間を振り返った時に、はたして会長の手足となって動いてきたであろうか。四大奉仕委員長をはじめ各委員長様方の橋渡しができていたのだろうか深く反省しているところでもあります。しかし馬場会長のおっしゃられた通り、本当に良い経験をさせていただいた一年間でした。又ロータリーというものに対する考え方にしても、以前とは違ってきたように自分自身でも思われます。

今後益々の東京新南ロータリークラブの発展を祈りながら、馬場会長はじめ田辺アドバイザー、理事、役員、各委員の皆様には、本当に心よりの御礼を申し上げます。最後になたましたが、山中さん色々お世話になりました。この一年間どうもありがとうございました。

●次週予告

7月7日/第423回例会

■RI第2750地区 丸山 宏 ガバナー公式訪問

◇ガバナー・会長・幹事懇談会/9:30～10:20 白鷺の間(1F)

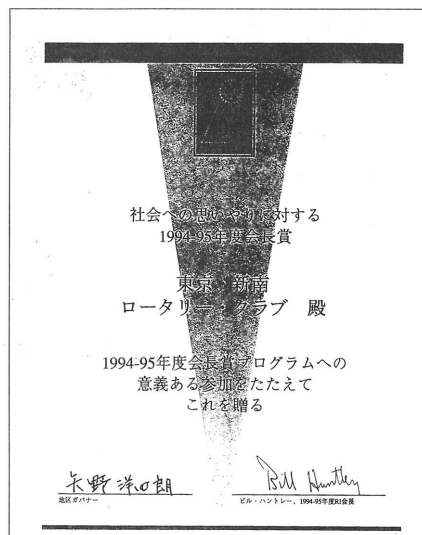
◇第2回クラブ協議会/10:30～12:20 青雲の間(B1)

テーマ「社会奉仕活動と会員増強」

◇例会/12:30～13:30 八雲の間(B1)

卓話予定「公式訪問に際して」 ガバナー 丸山 宏氏(東京銀座RC会員)

6月23日／第421回例会



卓　　話　「政治雑感」　参議院議員　森山真弓氏

本年度各四大奉仕委員会はそれぞれ3つ以上の活動目標を設定し、これを達成いたしましたので「社会への思いやりに対する会長賞」に応募しました。去る6月21日地区合同会議において、「社会への思いやりに対する会長賞」を受賞し、賞状をいただきました。



ロータリー新年度の初例会日・7月7日(金)例会前、第2750地区丸山宏ガバナーをお迎えして、第2回クラブ協議会を「社会奉仕活動と会員増強」のテーマで開催致します。全会員のご出席をお願い申し上げます。

と き 7月7日(金) 例会前10:30~12:20

ところ 東京全日空ホテルB1 青雲の間

受入青少年交換学生へのご協力をお願い

(学生名) Miss RACHEL ELIZABETH BLASER

79年6月1日生(16才) 国籍 米国 (カウンセラー) 渡部 一元会員

(受入期間) 95年8月下旬より1年間 (学校) 青山学院高等部

Miss RACHELのホームステイ、ご自宅へご招待、ご家族とのお食事や旅行に同行、職場の案内等で、会員の皆様一人おひとりがRACHELと交流を計っていただきたく、ご協力お願い申し上げます。（8月下旬より3ヶ月間は佐藤定宏会員の家庭でお待ちしております。）

とき 7月4日(火)17:30~19:30 ところ 東京全日空ホテル 37F アストラル

■出席報告●会員71名・出席36名・欠席35名（出席規定免除者3名）

ビジター(1名)渡部晴俊氏(東京狛江RC) **ご家族**(7名・敬称略)平井恵子、小瀬久美子、宮武洋子、西澤市子、沖美木子、鈴木美智子、山川佐智子

ムラ ヤマ キミ オ
村 山 公 士 君 (95年6月23日ご入会)



生年月日 1942年9月2日生 (52才)
事業所 学校法人東放学園
役職 理事
所在地 〒163-07 新宿区西新宿2-7-1
新宿第一生命ビル 14F
TEL 3342-2981
FAX 3342-2957

職業分類 各種専門学校
住 所 〒274
船橋市飯山満町 3 - 1761 - 96
TEL (0474) 65-2791
推 薦 者 齊藤茂之君、入沢頼二君

二二二BOX

順不同、敬称略
6月23日／9件 ￥40,000円
94～95年度累計 ￥2,401,153円
多額の御寄付を有難う
ございました。

矢野 弾（東京世田谷RC）馬場会長、役員の皆様ご苦労さまでした。／田島一郎、平井逸夫、小湊雅亮、西澤正雄、谷村義雄、鈴木重徳、福田恭三、田中 武
紙面の都合上、会員のコメントは省略させていただきました。

● 6月火曜会報告

去る6月6日総勢23名の参加者にて「会長を囲んで」と題して火曜会が開催されました。馬場会長・後藤幹事より素晴らしいお話があり、参加者からも活発な発言があるなど非常に有意義なうちに本年度最後の火曜会は無事終わりました。(川鍋記)

● 6月臨時理事会 議事録

と き 95年 6 月23日例会前 17:30～17:45
 ところ 東京全日空ホテル B1八雲の間
 出席者 青野、石坂、二宮、関、山川、
 大日方、後藤

決議事項

1. 退会希望の件/R. H. MARINI君
業務繁忙のため同君の退会を6月30日付けで承認。

会員の皆様のご協力で1年間無事会報を発行できたことを、深く感謝申し上げます。 クラブ会報委員会一同

東京新南ロータリークラブ

会長：馬場一廣 副会長：二宮利泰 幹事：後藤信夫
〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階
TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

〈会報委員〉

吉田 用親、柴藤清三郎、川鍋 二郎、
田中 武、山川 政樹、梶内 滋男、
宮本 正祥、新保 國彦、横山 秀明、
河原 勢自（編集担当順）

例会日●毎週金曜日・12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111